

新しく入園・入所される方は必ず入園・入所説明会に参加してください

幼稚園・保育所（園）・認定こども園 平成28年4月入園・入所のご案内

問合せ先 学校教育課こども育成係 ☎3929



在園児・新入園児ともに下記の日程で申込みを受け付けます。
該当する日で都合のつかない場合は受付期間内のいずれかの日にお申し込みください。
また、新しく入園、入所を希望される方は、**入園・入所説明会**に参加をお願いします。
申込書は、10月26日（月）以降、教育委員会、各幼稚園・保育所（園）、認定こども園に用意します。

対象幼児

幼稚園 下田市に住民登録のある3～5歳児（平成22年4月2日～平成25年4月1日生まれ）
保育所 原則、下田市に住民登録のある生後7か月～小学校就学前までの保育を必要とする児童

園名	入所（園）説明会		入所（園）申込み	
	日時	場所	日時	場所
下田幼稚園	10月22日（木） 9:30～11:30	ベ이스テージ 4階・会議室3 ※別室託児なし	11月30日（月） 9:00～18:00	中央公民館大会議室 （教育委員会2階）
下田保育所	10月22日（木） 13:30～15:30	ベ이스テージ 4階・会議室3 ※別室託児あり		
下田認定こども園	10月20日（火） 13:30～15:30	下田認定こども園 遊戯室 ※託児あり	12月3日（木） 12月4日（金） 9:00～18:00	
稲生沢保育園	10月26日（月） 13:30～15:30	稲生沢保育園 ホール	12月1日（火） 12月2日（水） 9:00～18:00	
ひかり保育園				

市内教育・保育施設一覧

施設区分	幼稚園	幼保連携型認定こども園	認可保育所			
施設名称	下田幼稚園	下田認定こども園	下田保育所	稲生沢保育園	ひかり保育園	
設置者	【公立】下田市	【公立】下田市	【公立】下田市	【私立】福 聖愛福祉会	【私立】福 聖愛福祉会	
所在地	一丁目17-2	敷根765-19	四丁目5-26	立野34	西中9-4	
保育認定	1号認定（保育必要性なし）		2・3号認定（保育必要性あり）			
定員	105人	90人	121人	150人	120人	60人
受入年齢	3～5歳児		生後7か月～5歳児			
保育時間	9:00～14:00		【短時間】 8:30～16:30 【標準時間】 7:30～18:30	【短時間】 8:30～16:30 【標準時間】 7:30～18:30 土曜日【短】 8:30～13:30【標】 7:30～16:00		
休園日	土・日・祝日・長期休暇（春夏冬）		日・祝日・年末年始			
通園バス	×	○（3歳児より）	×	○	○	
給食	○	○	○	○	○	

下田市男女共同参画情報コーナー

ハーモニー

(第39号)

問合せ先 企画財政課企画調整係 ☎2212
編集協力 男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会

『かなみ知恵の和館』、『きららか』を視察しました！

このほど男女共同参画の実現を目指す市民懇話会は、近隣市町における子育て支援環境の実態を知ることを目的として、下田市社会福祉協議会の地域福祉活動計画推進委員と合同で、函南町図書館等複合施設『かなみ知恵の和館』と伊豆の国市児童発達支援センター『きららか』を視察しました。今回はこの視察の内容についてご紹介します。

◎『かなみ知恵の和館』概要

平成25年4月に開館した函南町立図書館と子育てふれあい・地域交流センターが入った複合施設です。
また、ファミリーサポートセンター事業や家庭的保育事業などの事業も運営しており、図書館部分については1階にこども図書館やキッズルーム、2階に一般図書や学習ルームなどがあり、子どもと大人の利用者双方に配慮された施設になっています。



①広々としたプレイルームにはたくさん遊具が備えられています
②屋外には大型遊具が設置され、親子が楽しくふれあえる場となっています
③図書館部分は子ども向け図書と一般図書を分けて配置されています（写真は1階こども図書館）

◎『きららか』概要

平成27年4月に開所した伊豆の国市の児童発達支援センターです。伊豆の国市から指定管理を受け、（福）輝望会が施設の運営を行っています。主に児童発達支援、放課後等児童デイサービス、相談事業、保育所等訪問及び巡回支援、日中一時支援などを実施。児童発達支援は就学前、主に2歳児から5歳児を対象、放課後等児童デイサービスは就学児童を対象としています。



④センターは木造で建てられており、所々木の温もりを感じます
⑤訓練室内は子どもに安心感を与えるため、壁を作るなどの工夫がされていました
⑥屋外には遊具を使って遊べる十分なスペースがあります

視察参加者の感想

- ・とにかく至れり尽くせり、細部にまで配慮されたシステムに驚くばかりでした。図書館との併設で、子どもだけでなく、親やお年寄りまでふれあえる場所となっており、とても良いと感じました。
- ・学校と家庭以外に、子ども達、親子連れが安心して居ることのできる地域の居場所でした。図書館、交流センター、相談室が設けられ、安心できる環境が整っていました。
- ・少子高齢化が進む中で、1階から聞こえる幼い子の元気な笑い声、2階の学習コーナーで高齢者が静かに図書を読む姿にこの知恵の和館が目指す姿を理解することができました。

視察参加者の感想

- ・発達障害で受け入れてもらいたくても、受け入れてくれないそんな親子に対して、親身に楽しく過ごせる場所が身近にあるということは最高の喜びだと思う。
- ・案内をしてくださった職員の方の一言が強く印象に残りました。行動や思考が予想外のことが多くあるだろう生活支援の中で「ダメだよ」禁止用語を使用しないよう心がけているということ。わが身に置き換えて反省です。
- ・発達支援を必要とする子どもの親は、日々悩み、不安と心配を抱えていると思います。そうした親子にとって、笑顔いっぱいの先生方とこんな明るい教室が準備されている環境は素晴らしいと思いました。

【編集後記】

今回、近隣市町における子育て支援環境の実態を知ることを目的として視察しましたが、2施設とも大変素晴らしい施設でした。男女懇話会が目指す活動の一つに『子育てを考える』を掲げておりますが、今回の視察を参考とさせていただきます。男女がともに過ごしやすい子育て環境について、市民目線による話し合いを今後も展開していきたいと思っております。